

令和5年度の小規模特認校の取組みについて

令和6年1月
八尾市教育委員会

小規模特認校制度の目的

小規模な学校に対する方策の一つとして、市内全域から通うことのできる「小規模特認校制度」を令和5年度から導入



**魅力ある学校づくりを推進して、児童・生徒数を増やし、
学校規模の小規模化に歯止めをかける。**

➡魅力ある学校づくりのためには、

- 児童・生徒が規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加し、活躍できる場を創出する
- 他者から認められる機会を増やすことにより、自己肯定感や自己有用感を育む

入学者数・申請者数について

学校名	令和5年度 入学者数	令和6年度 申請者数
桂小学校	6	2
北山本小学校	0	0
高安小中学校（前期）	9	6
桂中学校	1	1
高安小中学校（後期）	0	3
合計	16	12

令和5年度の各小規模特認校の取組み

高安小中学校

テーマ：グローバル人材を育成し、子どもたちの可能性を広げます。

- 施設一体型の小中一貫の取組み
- 英語教育の充実
(NET常時配置、Takayasu English Village、英検、英語授業の充実など)
- 自主学習支援の充実
(外部指導員による学習教室の開催など)
- ICTを活用した学習活動の充実
(授業での積極的なICT活用、高安タイピング検定など)
- 地域に根差した学習“高安学”
(地域との連携、ゲストティーチャーによる出前授業など)

高安小中学校の取組みの様子①

◆「Takayasu English Village」

授業の時間や休み時間等をつかって、英語を用いたコミュニケーション活動を行います。前期課程では、英語の歌やゲームを楽しむ活動などを中心にして英語に親しんでいます。後期課程では、NETやALTに対してのプレゼンや、質問に答えるなどの会話を通して、英語力の向上を図っています。



◆「英語検定」

年3回、英語検定の準会場として、挑戦するチャンスがあります。1回分は市が検定料を負担する形でチャレンジできます。



◆「英語授業」

高安小中学校では生徒が主体的に言語活動に取り組めるよう英語の授業を工夫しています。授業改善のヒントを得るために、市内及び他市から高安小中学校の英語授業を見学に来る教員もいます。



高安小中学校の取組みの様子②

◆「河内木綿体験」

地域の方に協力していただき、学校で栽培した河内木綿を使って、綿繰りや手織りのコースターづくりなどを体験しています。



◆「防災学習プロジェクト」

地域の方から高安地域の防災についてお話を聞き、その内容を踏まえて自分たちの防災プロジェクトを発表しました。



◆「ニッポンバラタナゴ特別授業」

ニッポンバラタナゴ高安研究会より講師を招いて、特別授業を実施しました。地域の自然を大切にしようという意識が高まりました。



◆「高安タイピング検定」

休み時間を使って、自分でWeb上のタイピングサイトを利用した高安タイピング検定を実施しました。自分でコースを選択し、力を試すことができました。

令和5年度の各小規模特認校の取組み

桂中学校

テーマ：子どものキャリア発達を支援します。描こう、自分らしく輝ける未来！

- 「夢・誇り・絆」思いを重ね取り組む小中一貫教育
(中学校区で連携した取組みの推進)
- プロの指導者による部活動指導
(サッカー部、バスケットボール部、ソフトテニス部)
- 人権教育とキャリア教育の展開
(人権みらい探究科、様々な人との出会いや体験を通じた学習など)
- 確かな学ぶ力の育成
(英検、漢検、外部指導者による学習教室の開催など)
- ICTの徹底活用
(授業での積極的なICT活用など)

桂中学校の取組みの様子①

◆「プロの指導者による部活動指導」

令和4年度はサッカー部のみ、週1回程度、外部指導者と教員とが連携した指導を行っていましたが、令和5年度からは、サッカー部に加え、バスケットボール部とソフトテニス部にも外部指導者を迎え、教員と協力した部活動指導を実施しています。



◆「プロのダンスコーチによるダンス指導」

令和5年度は、プロのダンスコーチを招き、6回のダンス指導を実施しました。体育大会では、指導していただいたことを活かしてダンスを披露しました。



桂中学校の取組みの様子②

◆「放課後学習教室の実施」

週1回、外部指導者による学習教室を実施しています。30名ほどの生徒が参加しており、自分の力に合わせた学習を進めています。生徒が学力向上を実感しながら自信につなげられるよう指導しています。

また、夏と冬の長期休業中にも学習講座を実施し、生徒たちのモチベーションアップにつなげています。

◆「人権みらい探究科」

桂中学校では様々な出会いや体験を通して自分の生き方や持続可能な社会について考える学習をしています。



1年生 地域フィールドワーク



2年生 職業体験

令和5年度の各小規模特認校の取組み

桂小学校

テーマ：子どものキャリア発達を支援します。描こう、自分らしく輝ける未来！

- 「夢・誇り・絆」思いを重ね取り組む小中一貫教育
(中学校区で連携した取組みの推進)
- スポーツ・健康教育の充実
(専門家と連携した体育授業、放課後のスポーツ教室、ダンス指導など)
- 人権教育とキャリア教育の展開
(人権みらい探究科、様々な人との出会いや体験を通じた学習など)
- 確かな学ぶ力の育成、児童支援の充実
(少人数によるきめ細かい指導、漢字検定、スクールカウンセラーの配置など)
- ICTを活用したプレゼン能力の育成
(授業での積極的なICT活用、専門家によるプログラミング出前授業など)

桂小学校の取組みの様子①

◆「専門家と連携した体育授業」

令和5年度から、専門家とのチームティーチングによる体育授業が始まりました。

各学年、年間40回ずつ指導していただきます。

体を動かすことの楽しさを感じることを重視し、「できる」体験がたくさんできるように工夫した体育授業を実施しています。



◆「放課後スポーツ教室」

放課後に全学年を対象として、外部指導者による陸上教室とダンス教室を開催しています。楽しく運動することを通して、健やかな心身を育みます。



桂小学校の取組みの様子②

◆「プログラミング教室」

専門家を招き、4・5・6年生を対象に年2回プログラミングの出前授業を実施します。

障害物をよけながらゴールできるよう、iPadでロボットをプログラミングしました。



◆「人権みらい探究科」

桂小学校では様々な人との出会いや体験から学ぶ機会がたくさんあり、5年生では、ゲストを招いて食肉産業の学習をし、牛の皮を使った太鼓づくりを体験しました。



令和5年度の各小規模特認校の取組み

北山本小学校

テーマ：子どものキャリア発達を支援します。描こう、自分らしく輝ける未来！

- 「夢・誇り・絆」思いを重ね取り組む小中一貫教育
(中学校区で連携した取組みの推進)
- 専門家などによる教科学習や児童支援
(専門家と連携した体育授業や理科実験教室、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置など)
- 人権教育とキャリア教育の展開
(人権みらい探究科、様々な人との出会いや体験を通じた学習など)
- 放課後のおもしろ活動
(外部指導者による放課後スポーツ教室や外国語教室、絵画教室の実施など)
- 確かな学ぶ力の育成
(外部指導者による放課後学習教室の実施、漢字検定など)

北山本小学校の取組みの様子①

◆「人権みらい探究科」

ゲストティーチャーを招いた授業の実施や、校外学習での様々な体験活動を通じて、多くの人と出会いながら、自分の生き方について考えたり、よりよい社会にするために大切なことについて学習したりしています。



◆「放課後のおもしろ活動」

北山本小学校では、放課後に外部指導者による様々な活動を行っています。自分の興味のある様々な活動に楽しく参加しています。



▲バスケットボール教室



▲学習教室



◀絵画教室

北山本小学校の取組みの様子②

◆「専門家による教科学習」

【理科】

大阪教育大学から講師を招き、年間10回程度 理科の特別授業を実施します。

第1回目は、全校児童を対象に、液体窒素を使った実験を行い、子どもたちの理科への興味・関心を高めました。

その他、1学期には4年生で静電気の実験を行いました。今後、鉱物、空気、星の実験などを実施予定です。

【体育】

体育の水泳指導とマット運動の単元では、専門家と教員によるチームティーチングを実施しました。

手厚くしっかりとした指導を受けることができ、子どもたちも自信をもって活動することができました。



◀ 液体窒素を使った実験



▲ マット運動の様子

小規模特認校制度の効果及び取組みの成果

全体

- 小規模特認校制度を活用した就学申請が複数あった。学校の小規模化に歯止めをかける効果と同時に、保護者のニーズに応じた学校選択の機会となっている。
- 様々な広報活動により、制度に関心を持つ方が増えてきている。
- 施設見学会では、可能な範囲で児童が学習する様子を見ていただく場面をつくり、日頃の学校の様子を知った上で入学を検討していただくことができた。
- 小規模特認校制度により入学した児童・生徒たちは現在楽しく安心して学校生活を送ることができている。

小規模特認校制度の効果及び取組みの成果

効果・成果

- 英語教育に力を入れる取組みが、英語検定や学力調査等の結果につながっている。
- 地域学習により、地域を大切に思い、自分たちにできることを考えようとする態度を育成することができている。
- 人権みらい探究科を通して、様々な人との出会いや体験活動をこれまで以上に充実させることができ、自分の生き方やよりよい社会について考えることにつながっている。
- 専門家と連携した授業では、子どもがいきいきと活動しており、教員の授業づくりの参考にもなっている。

保護者・子どもの声

- 専門の外部指導者によるスポーツ教室は、児童が楽しく体を動かす機会となっており、保護者からぜひ続けてほしいとの意見などがある。
- 外部指導者による学習教室では、子どものアンケートにおいて「参加してよかった」という肯定的な回答が90%を超えており、今年度も意欲的に参加する様子が見られる。